

3月1日現在（前月との比較）		
世帯数	62,326 世帯	(37 世帯増)
人口	135,817 人	(46 人減)
(男)	68,180 人	(23 人減)
(女)	67,637 人	(23 人減)

# 市立美術館企画展「鳥を描く～写実と象徴～」

## 4月15日(土)～6月11日(日)

問い合わせ 市立美術館 ☎24-1195



①



②



③

皆さんは、「鳥」という言葉を聞いて何を思うでしょうか。孔雀や鷹といった鳥の姿を思い浮かべる人もいれば、鳴き声を真っ先に連想する人もいるでしょう。

さて、今年の干支は酉です。これにちなんで、今回は館藏品の中から鳥をモチーフにした作品を展示します。同じ題材を描いても、花鳥画の伝統に沿った優美かつ写実的な日本画の鳥と、鳥の持つ特徴や習性に象徴などを込めて描く洋画の鳥とは、大きくその様子が異なります。また、青梅市ゆかりの陶芸家 藤本能道にとっての鳥は、最も身近な愛すべきモチーフでした。各作家によるさまざまな鳥、約40点をお楽しみください。

なお、本展では平成27、28年度に新たに収蔵した12点の作品も、併せて初公開します。

会期 4月15日(土)～6月11日(日)

時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 月曜日

観覧料 大人200円、小・中学生50円

※障害のある方(障害者手帳提示)、市内在住の65歳以上の方(免許証・保険証など住所・年齢を確認できるものを一人ずつ提示、シルバーパス・診察券は不可)は無料です。

※市内在住の小・中学生は土曜日無料



④



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



- ▶④の作品にスマートフォン・タブレット端末の画面をかざすとAR動画が再生。
- ▶AR動画の再生についての詳細は市ホームページまたは左のQRコードから。
- ▶アプリは無料ですが、ダウンロードに伴う通信料などはかかります。

### 関連イベント

#### 学芸員によるギャラリーガイド

日時 4月30日(日)、5月20日(土)  
午後2時～2時30分(予定)  
定員 先着20人(予約不要、当日時間前に受付へお越しください)  
費用無料(ただし、要観覧券)

- ①藤本能道《椿尉鶴図八角面取壺》磁器 1986年
- ②田中案山子《鶴》紙本着色 1966年
- ③小林柯白《白芍薬》絹本着色 制作年不明
- ④寺島 稜《不真面目な鳥たち》油彩／カンヴァス 1982年